

一般質問

6月定例会



伊藤 好晴 議員

Q 安保関連法案への対応問う

国会で審議中の「安全保障関連法案」は、集団的自衛権を基礎にしており、アメリカ軍が武力紛争に参加した場合、「兵たん」後方支援」として参加することになる。「兵たん」は武力行使と一体であり、自動的に戦争に巻き込まれる。若者を二度と戦場へ送らないうために、法案は廃案しかないと考え、どう対応するのか。



護衛艦いずも

A 徹底議論を望む

町長 山崎英樹
平和な世の中、戦争のない社会にしていかなければならない。議論中の法案にはいろいろな問題が含まれていると思う。国会で、しっかりと議論を尽くしてほしい。

Q 高齢者等の見守り充実を

高齢者の見守り事業として、緊急通報システムが導入されているが、あくまで受動的なシステムになっている。相互監視になってはいけませんが、もっと働きかけるシステムに再構築が必要があると思う。様々な人々や機関が主体となり、それぞれの役割分担の中で、連携して行われるものと考え。

地域包括ケアシステムの構築は、自治体に課せられた責務である。英知を集めて本町独自の「見守りシステム」の構築を求める。

A 検討に取り掛かる

町長 山崎英樹
本町では「生きがい村構想」として、具体的な検討はしていない。提案の通り、具体的な検討を進めていきたい。

A 周知を進める

町長 山崎英樹
PRが不足しているので、広報などで順次周知していく。セキユリティーにも取り組んでいく。行政・住民にメリットはあると思うので、制度に沿って進めていく。

Q マイナンバー制度は廃止を

来年から運用されるマイナンバー制度を、国民は詳細に理解していない。利便性のみが強調されているが、日本年金機構のように情報漏洩が起これば大変な不利益を受けることになる。セキユリティーに万全という言葉はないと思う。

年金・雇用保険・医療保険・生活保護・児童手当・税金申告などに利用される上、預貯金等の金融資産・検診結果・カル

テなどの医療情報にまで広げられようとしており、国による国民監視ともいえる。国民に不利益、不都合を招くものは廃止しかないと考えるかどうか。

05
49
3

DEBATE

討論

飯南町税条例の一部を改正する条例

軽自動車税が燃費性能などにより、75%、50%、25%軽減される。一方、初期登録から14年が経過した軽自動車は20%増税される。また、2輪車や農耕用特殊車は1.5倍に増税される。

反対討論 伊藤 好晴議員

原動機付自転車と二輪車、トラクターなどの税金を引き上げることに反対する。

交通不便な本町では、町民の足となるバイク等は必需品だ。その増税は消費税とともに二重の増税となる。

トラクターなどの増税は、米価が暴落した今、農家にさらに負担を強いるものだ。

賛成討論 門 眞一郎議員

この法律は、軽自動車のグリーン化に対する税の軽減ということを中心にしている。

日本がCO2の排出量を20

20年までに1990年を基準として20パーセント削減する目標をクリアしていくために、この法律が作られた。



平成27年度一般会計補正予算(第1号)

マイナンバー制度導入のための準備にかかわる予算が含まれている。

反対討論 伊藤 好晴議員

マイナンバー制度は、セキユリティーの問題がある。集積された個人情報からウイルスメールなどで外部に流出する恐れがある。様々な情報が一枚のカードに集約されると、国による国民の監視につながる。

制度の詳細を国民に周知して、理解を得た上で制度を導入すべきだから反対だ。

賛成討論 門 眞一郎議員

制度に対する不安はある。しかし国は、サイバー攻撃に対し反サイバー組織を立ち上げ、国が責任を持つて取り組んでいく。自らの情報を常時持ち歩くのだから、持たれた方がそれぞれ自覚し守っていかねばならない。

適切な運用をしながら、行政の効率化を図っていただきたいので、賛成する。

【6月定例会】

全16議案のうち、反対があった議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	高橋英次	早樋徹雄	内藤眞一	熊谷兼樹	門眞一郎	長島正一	永井章	伊藤好晴	小野覚
専決処分の承認 飯南町税条例等の一部を改正する条例	承認	○	○	○	○	○	○	○	●	○
平成27年度飯南町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	●	○

○賛成議員 ●反対議員